

(3) テーマ③ 我孫子市が将来住みたいまちになるために

1) チームA

家族が安心して生活していける町であることをもっとアピールする。(待機児童ゼロ、自然)
郊外に大型商業施設
イベントアピールカ
観光アピール

2) チームB

我孫子市といえば〇〇！を作る (例えば・・・ゆるキャラ、名所、名品)
楽しい課を作る
コミュニティ活動不足(PR)
交通の利便性の向上
公共施設の充実
トカイナカの PR
商業施設の充実(買い物、飲食)
注: 良いまち我孫子の情報発信

3) チームC

①ブランドカ	オシャレな場所、名物を上手くPR(看板、学校、ニュース)、紹介しやすい所に、キャラクター
②住まい	マンション派、戸建派両方のニーズを満たす
③駅前と自然の土地のバランスが悪い	
④治安	暗すぎる所がある
⑤市民特典	〇年住むと・・・
⑥利便性	レジャー、飲み屋、プール、広場(子ども)、ショッピング、図書館、交通
⑦教育環境	図書館(時間短い)、学ぶところが少ない
⑧自然、祭り、川、キャラクター	

4) 総括

- ・ 我孫子市は自然豊かで保育サービスも充実しており、家族が安心して生活できる場所であることをウリにして、アピールすべき。
- ・ 人が多く華やかでにぎやかなまちに住みたいという意見もあるが、多くが都会だけれども田舎、田舎だけれども都会というように、利便性を求める一方で落ち着いた住環境も重視されている。
- ・ イベントは数多く開催されているが、PRができていない。
- ・ 行政と市民の連携という視点から、「楽しい課」の創設。行政側が市のウリと考えているものは必ずしも市民の考えと一致しているとは言えない。市民と行政が「良さを共有できる何か」が必要。
- ・ 交通の便、商業施設については賛否あったが、充実を求める声は多い。
- ・ 若者も地域との関わり、コミュニティ活動についての関心は高い。学生を単に学生としてではなく、一個人として地域の輪の中に取り入れることで、まちの活性化や魅力づくりにつながるのではないか。
- ・ 助成金や補助金など、市民になることで得をするといった施策・事業に魅力を感じている。
- ・ 我孫子といえばこれ、という名物、名産づくりが必要という意見が多かった。うなぎさんのブランド化も検討すべき。

